

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							所管局	
		平成24年度実績				【参考】平成23年度実績				
		成果指標結果	総合評価(1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価(2次評価)	成果指標結果	総合評価(1次評価)		総合評価(2次評価)
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市										
01	地域福祉の推進									
	【指標1】地域で、住民が互いに支えあっていると感じる市民の割合	B	B	本市策の成果指標及びサブ指標が「B」評価であったこと、また、施策を構成する主な事務事業については、概ね目標どおり実施したが、一部の事業において目標値を下回ったことを勘案し、1次評価はBとした。		B	B	B		健康福祉局
	【サブ指標1】バス停留所のバリアフリー化対応率	B			A					
02	援護を必要とする人の生活安定と自立支援									
	【指標2】生活保護を受けている人のうち、自立支援プログラムに参加した人の割合	A	A	本施策の成果指標である「生活保護を受けている人のうち、自立支援プログラムに参加した人の割合」は、生活保護受給者数が目標設定時に見込んでいた人数を大幅に上回ったものの、個々のニーズに対応した支援メニューの新たな実施等により、目標値を大きく上回ったことから、1次評価を「A」とした。		A	A	A		健康福祉局
03	子どもを生きやすい環境の整備									
	【指標3】合計特殊出生率	A	A	施策全体として、成果指標は2項目とも評価「A」であり成果が出ているところである。特に、施策を構成する事業のこには赤ちゃん事業については、年々訪問率が上昇しており、訪問できなかった家庭についても他の方法によりすべての乳児の状況把握を行うなど、母子保健の充実に繋がる取組が着実に推進できていることから、1次評価を「A」とした。	O	A	A		健康福祉局	
	【指標4】子どもを生きやすい環境であると感じている市民の割合	A				A				
04	子育て環境の充実									
	【指標5】子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合	B	B	サブ指標は目標を達成したが、本施策の2つの成果指標は目標値をわずかに下回った。また、施策を構成する主な事業においても目標を達成できなかったものがあることから、1次評価をB評価とする。		B	B		健康福祉局	
	【指標6】子どもを必要ときに預けられる場(人・場所)がある親の割合	B			B					
	【サブ指標1】児童虐待に関する通告相談に対する対応率	A			A					
05	青少年の健全育成									
	【指標7】不良行為少年補導人数	A	B	本施策の成果指標の目標値を大きく上回ったが、サブ指標については目標値を下回った。また、子ども・若者育成支援事業について、「子ども・若者支援協議会」を設置したことは評価できるが、施策を構成する主な事業のうち青少年活動支援事業・青少年健全育成環境づくり事業については、目標値を下回ったため、1次評価を、B評価とする。		A	A	A	健康福祉局	
	【サブ指標1】ニート・フリーターの相談者数に対する就学・就職者数の割合	B			A					
06	高齢者の社会参加の推進									
	【指標8】活動の場がある高齢者の割合	-	B	施策全体として、2つのサブ指標のうち、「高齢者の就労機会の充実」を測る指標については目標値を上回っているが、「高齢者の地域活動の推進」を測る指標については目標を達成できなかったことから、1次評価についてはBとした。しかしながら、施策の目標である高齢者の地域活動の推進に向け、高齢者の地域活動全般に関する情報提供を行うための各種取組を進めることができたと考え。	O	A	B		健康福祉局	
	【サブ指標1】シルバー人材センターの就業延人数	A								
	【サブ指標2】地域貢献講座の受講者数	B								
07	高齢者を支える地域ケア体制の推進									
	【指標9】健康と感じている高齢者の割合	-	A	本市策の3つの指標(サブ指標を含む。)のうち、2つの指標は目標値を上回ったが、1つの指標は目標値をわずかに下回った。しかしながら、施策を構成する事業においては、概ね目標どりの実績が得られ、施策の目標の達成に向け、十分に事業の効果が現れていることから、1次評価を「A」とした。		-	B		健康福祉局	
	【指標10】高齢者が地域で見守られ、支えられて暮らしていると感じている人の割合	A			A					
	【指標11】介護サービス利用者の満足度(3年毎に測定されるもの、次回平成25年度予定)	-			-					
	【サブ指標1】一次予防事業の参加者数	A			A					
	【サブ指標2】介護保険サービス受給者における居宅サービス・地域密着型サービス受給者の割合	B			A					

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有: )	所管局
		平成24年度実績				【参考】平成23年度実績				
		成果指標結果	総合評価(1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価(2次評価)	成果指標結果	総合評価(1次評価)		
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市										
08 障害者の自立支援と社会参加										
	【指標12】一般就労をした障害者の数	D	B	基幹相談支援センターや発達障害支援センターを開設するなど、障害者が地域で安心して暮らすことができるよう、社会福祉事業団や民間法人等と連携し、課題の解消を図り、施策の推進に努めた。しかし、施策全体として、4つの成果指標のうち、2つの指標が目標値を上回ったが、目標を達成できなかった指標もあったことから、1次評価をBとした。		D	B			健康福祉局
	【指標13】日中活動系事業所の利用者数	A			A					
	【指標14】相談支援を受けている件数	D			A					
	【指標15】障害福祉サービスなどに満足している市民の割合 (次回測定時期:平成25年度)	-			-					
	【サブ指標1】市内6箇所の障害者支援施設に満足している利用者の割合	A			-					
09 障害児の支援										
	【指標16】療育相談やリハビリテーションを行っている障害児の数(利用者数)	A	A	成果指標では目標値を上回った。また、施策を構成する事務事業においても、事業の進捗に多少の遅れはあったものの、目標を達成することができた。障害児の支援を行う中では、福祉、医療、教育委員会との連携は非常に重要であることから、発達障害者支援ネットワーク会議や支援教育ネットワーク協議会への出席など積極的な連携を図り、療育支援を行うことができたことから、1次評価をAとした。		A	A	A	健康福祉局	
	【サブ指標1】地域生活支援事業の実施(障害児やその家族を支援する人材の育成等)	A			A					
10 健康づくりの推進										
	【指標17】自分が健康であると感じている人の割合	B	B	成果指標や、施策を構成する主な事業において、目標を達成できなかった事業があったが、がん検診受診者数の増加や、健康増進事業、精神保健相談事業、食育推進事業等、心と体の健康づくりに向けた取組を着実に推進していることなどを総合的に評価し、1次評価を「B」とした。	○	B	B		健康福祉局	
	【指標18】日常生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合	B				A				
	【サブ指標1】食育フェアに参加しこれからできそうなことがあったと感じた人の割合	A				-				
11 医療体制の充実										
	【指標19】安心して医療を受けることができると感じている市民の割合	A	A	脳卒中患者に対する救急医療体制の確保などの地域医療事業の実施や、相模原北メディカルセンターの開設準備など救急医療事業の実施が着実に進められたことにより、市民の安全・安心を示す2つの成果指標についてはそれぞれ目標値を上回ったことから、1次評価を「A」とした。		A	A	A	健康福祉局	
	【指標20】収容依頼3回以内で受け入れられた救急搬送者の割合	A			A					
	【サブ指標1】国民健康保険税の収納率	B			B					
12 保健衛生体制の充実										
	【指標21】結核患者数	A	B	感染症対策及び食品衛生に係る本施策の2項目の成果指標については、いずれも目標を達成したが、施策を構成する事務事業の一部において目標を達成できなかったため、1次評価を「B」とした。	○	B	B		健康福祉局	
	【指標22】収去検査結果による基準値に対する違反率	A				B				
	【サブ指標1】犬ねこの致死処分頭数	B				A				
13 市民生活の安全・安心の確保										
	【指標23】市内で発生した犯罪認知件数(千人あたりの犯罪認知件数)	A	A	施策全体として、3つの成果指標のうち、2つの指標が目標値を上回り、1つの指標が目標を達成できなかった。目標を下回ってしまった指標に関する事業では、消費者への啓発活動の手段や機会は前年度に比較して増加しているところであり、また、施策の目標である市民の安全・安心に向け、路上喫煙防止条例や暴力団排除条例に基づく施策など総合的な取組みを進めることができたことから、評価をAとした。		A	A	B	○	市民局
	【指標24】市内で発生した交通事故件数(千人あたりの交通事故件数)	A			A					
	【指標25】消費者被害に遭わないように注意している市民の割合	C			B					

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有: )	所管局
		平成24年度実績				【参考】平成23年度実績				
		成果指標結果	総合評価(1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価(2次評価)	成果指標結果	総合評価(1次評価)		
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市										
14	災害対策の推進									
	【指標26】避難路整備率	A	A	3つの成果指標すべてが目標値もしくは目標値以上の実績となったことに加え、施策を構成する各事務事業についても概ね計画どおりの実績であるため、1次評価結果をAとした。	○	A	A			危機管理局
	【指標27】浸水被害警戒対象地域の解消率	A				A				
	【指標28】災害対策をしている市民の割合	A				A				
15	消防力の強化									
	【指標29】延焼率	B	B	2つの成果指標のうち、1つが目標値に達しなかったため、1次評価結果をBとした。		A	B			消防局
	【指標30】救命率	A				C				
	【サブ指標1】普及講習会受講者数	A				A				

学びあい 人と地域をはぐむ教育・文化都市										
16	学校教育の充実									
	【指標31】授業が分かりやすいと感じている児童・生徒の割合	A	B	施策を構成する事務事業においては、概ね目標・目標が達成できたが、成果指標32については目標を達成することはできなかったため、1次評価をBとした。		B	B	B	○	教育局
	【指標32】学校を楽しんでいる児童・生徒の割合	B				B				
学びあい 人と地域をはぐむ教育・文化都市										
17	家庭や地域における教育環境の向上									
	【指標33】子どもとのコミュニケーションが図られていると感じる保護者の割合	A	B	施策を構成する事務事業においては全事業目標を達成し、家庭や地域における教育環境の向上に向けて取組を進めることができた。しかし、施策全体として4つの成果指標のうち、2つの指標が目標値を上回ったが、目標を達成できなかった指標もあったことから1次評価をBとした。	○	A	B			教育局
	【指標34】親が自分のことを理解してくれていると思う子どもの割合	A				A				
	【指標35】地域における子どもの育成活動に参加した市民の割合	B				B				
	【指標36】地域行事に参加している子どもの割合	B				B				
18	生涯学習の振興									
	【指標37】学習機会を得ていると思う市民の割合	B	B	施策を構成する事務事業において、指標・目的の達成又は取組を推進することができ、市民に対する生涯学習の振興に向けて、取組を概ね進めることができた。しかし、成果指標が目標値を下回る結果となったため、1次評価をBとした。		B	B	B		教育局
	【指標38】学習成果を他の人に還元している市民の割合	B				B				
19	生涯スポーツの振興									
	【指標39】スポーツを定期的に行う市民の割合	B	B	ホームタウンチームの認定やトップレベルの競技会の開催など「観る」「支える」スポーツを推進するための施策を積極的に推進することができたものの、成果指標が目標値を下回る結果となり、一部の事業の取組に改善の余地があるものとして、1次評価をBとした。	○	B	B			教育局
20	文化の振興									
	【指標40】文化・芸術に親しんでいる市民の割合	B	B	施策を構成する主な事業について、概ね目標達成は出来ているが、成果指標の達成は出来なかったため、1次評価はBとした。	○	A	A			市民局
	【サブ指標1】文化財普及活動へのボランティア参加者数	C				A				

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							所管局	
		平成24年度実績				【参考】平成23年度実績				
		成果指標結果	総合評価(1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価(2次評価)	成果指標結果	総合評価(1次評価)		総合評価(2次評価)
学びあい 人と地域をはぐむ教育・文化都市										
21	国際化の推進									
	【指標41】日常生活のなかで市民と外国人市民が交流している割合	B	B	成果指標においては、目標値には達成しなかったものの、多文化共生事業など国際交流、国際理解に寄与する事業への参加者数は増加しており、国際交流等の機会や交流する市民が増えていることから、1次評価をBとした。			B	B		総務局
22	人権尊重・男女共同参画の推進									
	【指標42】人権の侵害を受けていると感じている市民の割合	A	A	施策全体として、3つの成果指標のうち、1つは目標値を下回ったものの2つは達成し、施策を構成する事務事業においては概ね目標を達成することができた。コスト(総事業費)も増加させておらず、効率的な事業運営ができた。目標値を下回った「市審議会の女性委員割合」についても、5年連続で数値を上げており、本施策については一定の結果を示せていると考え、1次評価をAとする。			A	B	B	O
	【指標43】家庭・地域・学校・職場などで男女平等であると思っている市民の割合	A				A				
	【指標44】市審議会等における女性委員割合	B				B				
23	世界平和の尊重									
	【指標45】世界平和の実現に向けた取り組みに参加している市民の割合	B	B	成果指標における目標値は、達成できなかったが、学校教育と連携した事業実施による参加世代の拡大が見られたことや、各イベントでのアンケート結果が好評であったことから、1次評価をBとした。			A	A	A	総務局

やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市										
24	地球温暖化対策の推進									
	【指標46】市全体の温室効果ガス総排出量	A	A	指標である市全体の温室効果ガスの総排出量について目標を達成していること、また、地球温暖化対策推進条例の制定、環境影響評価条例制定に向けた検討等が予定どおりに進捗していることや住宅用太陽光発電システム設置補助件数が目標を大きく上回るなど、施策全体として順調に取り組みが図られていることから1次評価をAとした。			A	A	A	環境経済局
	【サブ指標1】産業部門の温室効果ガス排出量(製造業、建設業等)	A				A				
	【サブ指標2】民生家庭部門の温室効果ガス排出量(市民生活関連)	B				B				
	【サブ指標3】民生業務部門の温室効果ガス排出量(事務所や商業・サービス業施設等)	B				B				
	【サブ指標4】運輸部門の温室効果ガス排出量(自動車、鉄道等)	A				A				
25	環境を守る担い手の育成									
	【指標47】日常生活において、環境に配慮している市民の割合	B	B	【指標47】の市民アンケート調査結果は、平成24年度の目標に達成しておらず、また、前年度からの実績値も下がっており、これからも広く市民への啓発・周知を図る必要があることから、1次評価はBとした。			B	B		環境経済局
26	資源循環型社会の形成									
	【指標48】市民1人1日あたりの家庭ごみ排出量	B	B	市民に対し積極的にごみ減量の啓発を進めることができたことや、小型家電リサイクルを新たに始めたことなどは評価できるが、指標3つの内2つがB判定であることから、総合評価はBとした。			B	B	B	O
	【指標49】リサイクル率	B				B				
	【指標50】ごみ総排出量	A				A				
27	廃棄物の適正処理の推進									
	【指標51】市内で発生するごみが、市焼却施設及び最終処分場で処理される割合(家庭ごみ)	A	A	施策の2つの成果指標については双方とも目標値を上回っており、施策を構成する事業の取組結果も概ね達成していることから評価をAとした。			A	B	B	環境経済局
	【指標52】ポイ捨て、不法投棄を防止し、まちの美観が保たれていると感じる市民の割合	A				B				

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							所管局	
		平成24年度実績				【参考】平成23年度実績				改善工程表(有:)
		成果指標結果	総合評価(1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価(2次評価)	成果指標結果	総合評価(1次評価)		
やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市										
28	水源環境の保全・再生									
	【指標53】管理された森林面積の割合(水源の森林づくり事業)	A	B	施策の2つの成果指標のうち【指標54】については目標値を下回ったが、【指標53】は目標値を上回ったこと、また施策を構成する主な事業の取組は概ね順調に図られたことから1次評価はBとした。		A	B	B	○	環境経済局
	【指標54】市域から津久井湖に流入するチソ・リンの削減量	C				C				
29	人と自然が共生する環境の形成									
	【指標55】緑地率	B	B	2つの指標のうち1つは僅かではあるが目標を達成できておらず、また、施策を構成する事業のH24の取組結果についても取り組みが不十分な事業があったため、1次評価はBとした。	○	B	A			環境経済局
	【指標56】水辺やみどりに親しめる場が十分であると感じる市民の割合	A				A				
30	生活環境の保全									
	【指標57】大気・水質規制基準適合率	A	A	成果指標は包括的に目標を達成していることから、1次評価結果をAとした。	○	B	B			環境経済局
	【指標58】調査測定地点環境基準適合率	A				A				
31	快適な都市空間の創造									
	【指標59】市街地、公共施設等における緑化満足度	A	B	3つある指標の内1つについては目標を達成できなかったため1次評価をBとした。		A	B			環境経済局
	【指標60】緑化活動に取り組む市民の割合	B				B				
	【指標61】公園の満足度	A				A				
32	雇用対策と働きやすい環境の整備									
	【指標62】有効求人倍率	C	B	指標62の有効求人倍率については、本市の施策のみで数値を上昇させることは非常に難しい面がある。また、施策を構成する事務事業は計画どおり実施し、設定したサブ指標3つの内「さがみはら若者サポートステーションの就職・就学率」「相模原市就職支援センターの就職率」は目標を上回っており、「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた見直しの推進率」についてもB評価ではあるが95.3%と比較的高い率であることから1次評価をBとした。	○	D	B	B		環境経済局
	【指標63】ワーク・ライフ・バランスを考えた福利制度を導入している中小企業の割合(4年毎に測定されるもの、次回平成28年度予定)	-				-				
	【サブ指標1】さがみはら若者サポートステーションの就職・就学率	A				A				
	【サブ指標2】相模原市就職支援センターの就職率	A				A				
	【新規】【サブ指標3】ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた見直しの推進率	B								
33	地域経済を支える産業基盤の確立									
	【指標64】製造品出荷額等	B	B	施策を構成する各事業については概ね目標を達成しているが、指標64については目標を下回っているため1次評価はBとした。		A	A	A		環境経済局
34	新産業の創出と中小企業の育成・支援									
	【指標65】新規の開設事業所数	A	B	2つの指標の内、指標65は目標値を大幅に上回ったが、指標66については暫定値ではあるが、目標値に達しておらずB評価であるため、1次評価はBとした。		A	B			環境経済局
	【指標66】経営安定の中小企業数(黒字申告をした企業数)(8月以降発表予定)	B				B				
35	商業・サービスの振興									
	【指標67】小売業年間販売額(商品販売額)(概ね5年毎に測定されるもの、次回平成26年度予定)	-	B	成果指標は5年後ごとに調査を行うもので、実績値は出ていないが、街のにぎわいを示すサブ指標として設定した中心商業地、地区中心商業地の駅の乗降者数については目標を上回った。しかし、施策を構成する主な事業「中心市街地の魅力向上事業」の指標である商店会長の景況感が目標に達しなかったため、1次評価をBとした。		-	B			環境経済局
	【サブ指標1】橋本駅、相模原駅、相模大野駅、上溝駅、湘野辺駅、東林間駅、小田急相模原駅及び古淵駅の乗降者数	A				B				

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							所管局	
		平成24年度実績				【参考】平成23年度実績				
		成果指標結果	総合評価(1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価(2次評価)	成果指標結果	総合評価(1次評価)		総合評価(2次評価)
<b>やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市</b>										
36	都市農業の振興									
	【指標68】農用地区域内における耕作地面積の割合	B	B	「耕作地面積の割合」については、総合的な施策の展開により明確な上昇トレンドとなっている。また、地産地消の拠点となる農産物直売所の開設を契機として、今後、市内農産物の生産拡大が見込まれる。一方で、2つの成果指標とも年度別目標を上回っての達成はできなかったことから1次評価をBとした。		B	B	B	O	環境経済局
	【指標69】市内農業生産量(5年毎に測定されるもの、平成24年3月実施)	B			B					
37	魅力ある観光の振興									
	【指標70】入込観光客数	B	B	施策の成果指標である「1人あたりの観光客消費額」については、目標額を上回ったが、「入込観光客数」については、目標数に達していないことから1次評価をBとした。	O	C	B			環境経済局
	【指標71】1人あたりの観光客消費額	A			A					
<b>活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市</b>										
38	計画的な土地利用の推進									
	【指標72】特定保留区域の市街化編入率	A	A	施策全体として2つの成果指標は目標値を達成し、施策を構成する事務事業については予定どおりの事業実施が図られたことから、1次評価をAとした。	O	-	A			都市建設局
	【指標73】自然的土地利用を図るべき地域の面積	A			A					
39	広域交流拠点都市にふさわしい都市拠点の形成									
	【指標74】市内3拠点の駅乗降客数	B	A	成果指標は目標値を下回ったものの主要3駅の乗降客数は増加しており、前年度は東日本大震災後の影響によるものと思われる乗降客数の減少があったが、それ以前と比較して1日当たり6,000人もの増加があったことは一定の評価ができる。また、施策を構成する事務事業については、相模大野駅西側市街地再開発事業が整備構想の策定以来22年の歳月を重ね地権者や関係者の協力のもと竣工に至ったこと、その他の地区についても概ね予定どおりの実施が図られたことから1次評価をAとした。	O	B	A			都市建設局
40	新たな産業拠点の形成と地域の拠点の活性化									
	【指標75】インターチェンジ周辺の企業立地件数	D	B	当麻地区、川尻大島界地区共に目標年度内に市街区域への編入及び土地区画整理組合の設立を達成したが、地権者合意形成や関係機関との協議に時間を要したため、事業着手には至らず、成果指標の目標を達成することができなかった。しかしながら、施策を構成する各事務事業は厳しい社会情勢化において効率的に事業を実施し、事業施策の目標達成に向けて着実に効果は表れていることから1次評価をBとした。	O	-	A			都市建設局
41	広域的な交流を支える交通体系の確立									
	【指標76】市内3拠点から市外主要都市駅までの鉄道の所要合計時間の短縮(片道) (小田急線渚ヶ線化終了まで変更なし)	-	A	2つの成果指標はいずれも測定結果が出ていないものの施策を構成する事務事業については予定どおりの事業実施が図られたことからAとした。		-	A			都市建設局
	【指標77】市役所から市内外主要地点までの自動車での合計移動時間の短縮(片道) (さがみ縦貫道路開通まで変更なし)	-			-					
42	地域を支える交通環境の充実									
	【指標78】市内主要地点間の所要時間合計(片道) (5年毎に測定されるもの、次回平成26年予定)	-	A	2つの成果指標のうち1つは目標を達成することができず、もう一方は測定結果が出ていないものの、公共交通カバ率については、過去に事業者から撤退の申し出があったバス路線に公費を投入することで既存のバス路線を維持確保したこと、導入済みのコミュニティバス及び乗合タクシーが運行継続条件を満たすなどして前年の状況を維持できたことは一定の評価ができる。また、その他の施策を構成する事務事業についても着実な整備が進められていることから1次評価をAとした。		-	A			都市建設局
	【指標79】市域面積(国定公園及び水面・河川敷の面積を除く)に対する公共交通カバ率	B			A					

基本目標										
施策名	成果指標	総合計画進行管理							改善工程表 (有: )	所管局
		平成24年度実績				【参考】平成23年度実績				
		成果指標結果	総合評価(1次評価)	1次評価の説明(要旨)		総合評価(2次評価)	成果指標結果	総合評価(1次評価)		
活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市										
43	公共交通を中心とする交通体系の確立									
	【指標80】人口規模に対する公共交通の利用割合(5年毎に測定されるもの、次回平成26年予定)	-	A	成果指標は測定結果が出ておらず、サブ指標についても目標値を達成できなかったものの、施策を構成する事務事業については予定どおりの事業実施が図られたことに加え、これまでの取り組みが実を結び鉄道利便性が大きく向上したことから1次評価をAとした。		-	A			
	【サブ指標1】放置自転車等の台数	B				A				
44	魅力ある景観の保全と創造									
	【指標81】市街地の景観が良好に保たれていると感じる市民の割合	A	A	成果指標は2つとも高い水準で目標値に達し、施策を構成する事務事業が予定どおり実施されていることから1次評価をAとした。		A	A	A		
	【指標82】自然的な景観が良好に保たれていると感じる市民の割合	A				A				
45	安全で快適な住環境の形成									
	【指標83】住環境のルールを定めている地区の数	A	B	2つの成果指標のうち、1つの指標は目標値を達成し、もう一方は測定結果が出ていない。施策を構成する事務事業については概ね予定どおりの事業実施が図られているものの、市営住宅の整備や既存住宅耐震化事業、マンション管理対策推進事業については更に積極的な取り組みが必要とされるところであることから、1次評価をBとした。		A	A			
	【指標84】住宅の耐震化率(相模原市耐震改修促進計画の見直し時に設定、次回平成27年予定)	-				-				
46	基地の早期返還の実現									
	【指標85】基地の存在が日常生活において支障があると感じる市民の割合	A	A	粘り強く継続的に実施していくことが重要な事業ではあるが、平成24年度は、これまでの要請活動の結果として、相模総合補給廠の共同使用について正式合意され、このことが実績値の増加につながり、年度目標を達成したことから、1次評価はAとする。	O	B	B			

市民とともに創る自立分権都市									
47	分権型のまちづくりの推進								
	【指標86】住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合	B	B	施策を構成する主な事務事業の目標は達成できており、区民主体のまちづくりの推進に向けて様々な事業を展開したが、成果指標の目標は達成出来なかったため、1次評価はBとした。		B	B		
48	皆で担うまちづくりの推進								
	【指標87】地域活動への参加率	A	B	3つの成果指標のうち、市民活動の参加率が減少し、目標を達成することが出来なかったため、1次評価をBとする。		A	A	A	
	【指標88】市民活動への参加率	B				A			
	【指標89】市内のNPO 法人数	A				A			
49	行政サービス提供体制の充実								
	【指標90】求めている行政サービスが、必要ときに身近な場所で受け取ることができていると感じる市民の割合	B	A	成果指標の目標は下回っているが、緑区合同庁舎の新設やパスポートセンターの開所等、施策を構成する事業について全て目標を達成しているため、1次評価をAとした。	O	B	A		
50	市民と行政のコミュニケーションの充実								
	【指標91】市政に意見を言える機会や手段が備わっていると市民の割合	A	A	各事業における取組が着実に進み、このことが実績値の増加につながっていると思われる。同時に事業費の削減にも努め、費用対効果が上昇していることから1次評価をAとした。		A	B		
	【指標92】市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合	A				B			